

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日: 2022 年 1 月 10 日
事業所名: 夢門塾ゆうゆう新市

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である		2	3	部屋も狭く、音が響きやすいため公園での活動が多くなる。隣施設から苦情が出ることもあり、思いっきり遊ばせてあげられない。周りの声が気になり宿題に集中できない。
	②	職員の配置は適切である	1	2	2	人員不足で、送迎・公文が重なると目を配ることが難しくなってくるが、死角をつくらないようにしている。
	③	衛生面の管理が行き届いている	5			手洗い、うがい、換気、送迎後の車の消毒は徹底して行っている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	4	1		私のあゆみ等でPDCAサイクルはできている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	5			保護者評価、アンケートを元に保護者様の意見を考慮し業務改善に繋げている。
	⑥	自己評価の結果を公開している	5			集計したものをミーティングで話し合い、インターネットで公開している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	5			定期的に行われている研修や会議には積極的に参加している。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	5			保護者様のニーズに答えるため、情報を共有した上で個別支援計画を立てている。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	3	1	1	休日、長期休みの計画は職員で話し合い決めているが、その他の日はレクリーターが中心になり行っている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	3	1	1	室内での活動は限られているので、同じものの繰り返しにならないように工夫し工作、クッキング等はインターネット等で検索し取り入れている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	4	1		細やかな設定まではできていないが、行事がだぶらないように休日、長期は日頃経験できないように楽しめる行事を考えている。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	4	1		集団生活の難しい子どもには個別対応をし、徐々に集団生活に入れるように支援している。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	2	2	パート職員を含めた打ち合わせは難しく、活動は主にレクリーターが行っている。送迎、公文等は業務に入る前に個々で確認している。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			日々の支援内容はその日の内に記録し、築きがあったら話し合いをし今後の支援に活かしている。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	5			保護者様には定期的にモニタリングを行い、職員は月1回のミーティングで意見交換をしている。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	5			公園での活動、創作活動、クッキング等計画して行っている。

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	1		年間行事、下校表は保護者様からいただいたり、インターネットで検索して調べている。時間の急な変更はその都度連絡をとり対応している。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	2	3		
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している		4	1	移行する子どもがいなかった。 定期的な会合、問い合わせがないと情報共有は難しい。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	5			個別支援計画の目標を意識し、送迎時にその日の様子を伝え情報共有している。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	5			運営規定、支援の内容、利用者負担については契約時に説明させてもらっている。利用者負担で自費が発生するものはその都度メモをお渡しし了解を得ている。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	3	2		悩み相談があった場合は、送迎時や電話等で助言を行っている。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している			5	コロナ禍のため行っていない。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			苦情があった時には、すぐに職員から情報を聞き取り、改善案を話し合っ保護者、利用者説明している。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	5			夢だより、夢通信は月1回発行している。 夢だよりは日頃の様子、夢通信はその月の行事予定を記載し、楽しんでもらえるように情報発信している。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	5			個人名が入ったものはシュレッダーにかけ、カルテ等は書庫に鍵をかけている。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			障害がある子どもに対して、気になることがあればその都度情報を共有し、今後の支援に役立てている。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている			5	コロナ禍のため行事への参加は難しい。
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	5		
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	5			春、秋の2回定期的に避難訓練を行っている。
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			年1回の虐待防止の研修には全員参加できている。
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	2	3		身体拘束を行う利用者がいない。
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	4	1		投薬の必要がある時には、必ず二人でチェックしている。
㉕		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	4	1		事故が起きた時には、すぐに事故報告書を書いてもらい、職員みんなが目を通し再発防止に役立てている。